

杏の会

獨協医科大学
附属看護専門学校
同窓会

第7号

長野県・白馬村/残雪の北アルプス連峰

題字: 磯田仙三郎

懐かしい顔に会いたくて

獨協医科大学附属看護専門学校 同窓会会長
松長幸子<1部3回生>

平成5年に発足した同窓会「杏の会」は今年で9年目を迎えます。

同窓会とは不思議なもので、共同生活というものを初めて体験した学生寮での楽しかったあの頃が、まるで今でも続いているよう



な錯覚を起こさせてくれます。当時流行した歌がテレビなどから聞こえてくると思わず口ずさみ、友達の顔が思い出されます。これまでに開催された総会には、そんな懐かしい顔に合えることを楽しみに出席しているようなものでした。

普段は同窓生に会うことはめったにありませんが、私の勤めている職場に学生さんが実習に見えます。病院を離れ患者さんの生活の場である地域の看護はどういうものかを一緒に考える機会を頂いていますが、いずれ同窓生になるのだと思うと、ひとつでも多くのことを学んで欲しい気持ちが強くなり指導にも熱が入ります。

看護学校創設以来四半世紀が過ぎ、着実に受け継がれてきた看護の精神とともに、同窓生の絆をこれからも一層深められるようお役に立てればと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。



就任のご挨拶

獨協医科大学附属看護専門学校 副校長
板橋イク子

同窓生の皆様今日は。暑い毎日ですがお元気にお過ごしのことと推察いたします。

私は平成13年4月1日付けで獨協医科大学附属看護専門学校の副校長として就任いたしました。



同窓生の皆様が学生の頃は臨地実習や講義などで関わり、本年3月までは大学病院に就職された卒業生の方々と一緒に働いていましたので、同窓会を身近に感じている一人です。暫らくの間は教務主事兼務となりますが、学校の発展のために力を尽くしたいと思います。宜しくお願い致します。

さて、本校も28回生を迎えるまでになりました。本校は、看護の実践者育成をめざしています。さらには、社会の要請に応じた、人間性豊かで看護実践能力が高いレベルにある看護婦・看護師の育成を目指しています。しかし、近年の看護系大学の急速な増加に見るように、専修学校でその目的を達成させることは困難になってきています。

今、本校では教育内容や教育環境を整え、優秀な学生を安定的に確保できるような改革を目指しています。どうぞ、卒業生の皆様の強力なご支援をお願い致します。

終わりに、同窓生各位の益々のご発展とご健康を祈念して就任のご挨拶とさせていただきます。

チヨダ地域保険推進賞を受賞して

時の流れは早いもので、四季折々の風景を味わう間もなく今年も半年が過ぎようとしています。

同窓生の皆様お元気でご活躍のことと存じます。

私は高看(2回生)を昭和53年に卒業し、保健婦職に就



いて19年目を迎えました。勤務地は、岩舟町役場の保健課です。町に住む方々の健康増進や疾病予防のためあの手この手と、色々な手法を用いて保健活動を行っております。「住民の誰もが健康で安心して生き生きとして暮せる町」を作ることを究極の目的にしています。高齢化社会の進展に伴い医療費も増加を続け「老人医療費」は毎年1億円ずつ増え、それを支える現役世代の負担も大きくなる一方です。ですから、高齢になっても生涯現役でいられるような健康な人であるための支援をすることが大事な仕事になります。私の周囲には元気な高齢者が沢山おり、そのパワーを頂きながらみんなで健康な町をつくるため頑張っています。

この度、健康な町づくりの活動が認められ「第4回チヨダ地域保険推進賞を受賞いたしました。この賞は千代田生命健康開発事業団が、保健活動に貢献した保健婦(士)の個人とグループを表彰するものです。今回は全国88件の応募の中から30件が選ばれ、県内の受賞は私の町だけでした。

健康への意識を高めるには、個人の取り組みを社会全体として支援する環境づくりを重視し、行政、地域、ボランティア共同のもと10年かけて健康づくり活動を行ってきました。その結果、次の3点において成果を上げることができました。

- (1)脳血管疾患標準化死亡の低下
- (2)老人一人あたりの医療費の減少
- (3)運動習慣の普及

その中で、教えられたことは、(1)人を変える、地域の意識を変えるのには10年程度の期間がかかる。(2)信念をもって続ければ必ず成し得る。(3)自らが動き出せば力になってくれる人がいる。(4)ネットワークを作れば大きな仕事ができる。(5)つまづいた時はいろいろな人に相談すれば必ず前進できる等です。「情けは人のためならず」と、当時の町長さんがおっしゃった言葉ですが、全くその通りです。それが、仕事を進めるうえで今でも私の大きな支えになって

いるのだと思います。第1期は一応の成果を上げることができました。第2期に向かって「いきいき岩舟推進プラン」を策定し今年度からスタートさせます。『私の町は良くなった。町が元気、人が元気。』と言われるような町づくりを目指して新たにチャレンジです。 【岩舟町役場 保健課 塚本由紀子】



第9回総会並びに「同窓生の集い」を開催して

同窓会事務局

平成13年6月8日(金)、多くの皆様のご理解とご支援をいただきまして、医大学生食堂において第9回総会並びに「同窓生の集い」を開催いたしました。

4月から看護学校の副校長先生に着任された名誉会員である板橋イク子先生を始め、早田一子婦長、特別会員である宮本郁恵婦長、元教員の水島明美さんのご出席を頂き、和やかに集うことができました。「同窓生が集まり、同窓生としての誇りと団結心を培う事は素晴らしいことです。このような催しを今後も継続させて下さい。」とお言葉をいただき、私たち役員にとりましても嬉しい励みとなりました。

今回は1部3回生の尾関文子さんのお仲間4名による「中国足心道」の実演を行い大好評を得ました。当日は白衣姿で立ち寄り、実演に参加し疲れた身体を癒せたと喜んで帰っていった同窓生もおりました。

今後、運営費の増加が見込まれるため総会の承認を得て会則の変更を行いました。

終身会費は現行のまま、平成14年4月より入会金を5,000円とさせていただくこととなります。尚、既に完納している会員の皆様には該当しません。ご協力をお願いいたします。その他の会則に関しては新会則を配付いたしますのでご覧ください。

同窓会室は平成15年30周年記念会館(仮称)に移転予定です。

来年度は同窓会創立10周年を迎えます。今後も親しみのある同窓会にして行きたいと思っておりますので、どうぞご協力を宜しくお願いいたします。

看護部長にご就任されて

4月1日付で佐山静江副看護部長が看護部長に就任されました。佐山看護部長にインタビューをしましたのでご報告致します。

Q:看護部長ご就任おめでとうございます。始めにプロフィールをお聞きしたいと思います。



Q:御出身はどちらですか？ A:岩手県です。

Q:生まれた干支と星座は？

A:子年生まれの水瓶座です。

Q:ご自分の性格は？

A:明るい性格だと思います。

Q:血液型は？ A:A型です。

Q:好きな言葉を教えてください。 A:一期一会

Q:看護部長になられた感想は？

A:業務の多さ、判断力の必要性は想像以上でした。「責任」という文字が大きく感じられる毎日です。

Q:どのような看護部にしたいですか？

A:看護職員が人間性を高めながら、チームの一員として役割が果たせるような看護部にしたいと思っています。(生き生きと微笑みをもって…)

Q:看護学校同窓会に一言お願いします。

A:ここ数年の同窓会の成長に拍手です。

お忙しい中、御協力ありがとうございます。

お身体に気をつけて御活躍ください。

定年退職を迎えられて

3月31日をもって、渡辺映子看護部長が定年退職されました。

渡辺映子部長は昭和48年9月に看護婦長として着任。昭和58年8月より看護部長に就任されました。その間、看護教育、質の向上等に情熱を傾けられ看護部の発展はもとより病院の発展にもご尽力されました。

3月16日に、退任の記念パーティーが催されました。パーティーでは、ナース・キャップを外す、離帽の儀が厳かに執り行われました。長年の御功績を讃え、御功労に感謝申し上げます。



会員のための同窓会活動を願って

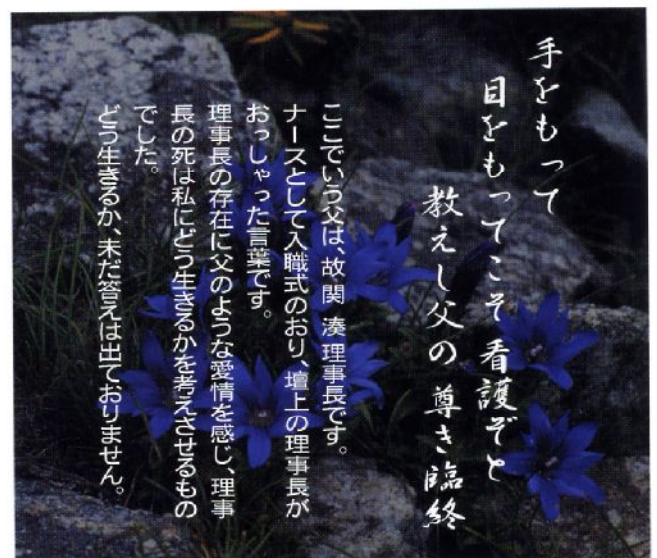
会員も増え着実な歩みをしていますので、これからは後援会の時に活躍している会員の中から講師を迎えるなど、会員が会員のための活動を活発に行っていけるといいと思います。平成5年度設立とまだ若い同窓会ですが、会員のために団体として独立してほしいです。そして将来、看護学校をバックアップできるような団体として大きく成長してほしいと思います。 【前教務主事 早田一子先生】



早田先生におかれましては、昭和50年9月に獨協医科大学病院に就職されました。看護専門学校へは昭和54年4月に赴任され、昭和60年12月より教務主事として平成13年3月まで約21年間勤務されました。平成13年4月より病棟に異動されました。

早田先生には平成5年同窓会設立にあたり同窓会の発起人会世話人として多大なるお力添えを頂きました。同窓会役員や運営委員会においては、言葉に言い表せないほどの細部にわたるご指導を頂きました。その後の、同窓会の総会や懇親会にも出席して頂き、この機会に集まった同窓生の人気を一集しておりました。早田先生なくしては同窓会の運営はなかったといえます。先生、長い間ありがとうございました。今までと変わらず同窓会を暖かくお導きくださいますよう、よろしくお願ひいたします。

今後の先生のますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。





お知らせ

平成13年度の看護専門学校運営委員と教職員を紹介いたします。

【運営委員】

委員長 山崎 雙次(学校長)
 委員 大森 健一(医科大学学長)
 小倉 武(医科大学事務局長)
 佐山 静江(看護部長)
 板橋イク子(副校長兼教務主事)
 熊倉 利夫(事務長)

【教職員】

校長 山崎 雙次(平成12年4月就任)
 副校長兼教務主事
 板橋イク子(平成13年4月就任)
 副主事 宇佐見規子
 専任教員 赤羽 由美 阿部 洋子
 今泉 玲子 宇塚 仁美
 大塚多嘉子 小杉 京子
 小林千賀子 田中 京子
 南條 珠江 萩原 旬子
 山根美智子
 事務長 熊倉 利夫
 事務員 高山 典子 高橋 淳子
 山崎 正子
 寮管理人 福富 省吾 福富八重子

同窓会室リニューアルについて

獨協医科大学は、平成15年に創立30周年を迎えるに当たり、記念事業が計画され、創立30周年記念会館(仮称)が設立されることになりました。この施設の中には、体育館、小ホール、セミナー室、部室などの他、看護学校専用室兼同窓会室が設けられ、今後の同窓会活動が、より活発に行えるものと思われます。記念事業につきましては、会員の皆様よりご寄付のご協力をお願い申し上げます。

施設設備実行委員:仁戸部富江
 寄付募集実行委員:高久 敦子

大学病院の外来新情報

大学病院では外来患者さんの診察や会計の待ち時間に関する不安感、イライラ感を緩和するとともに、それぞれの業務がスムーズに行なえるよう患者さんを誘導する目的で、以下の機械が設置され、稼働しております。

●自動再来受付機 6台 ●診察案内表示盤 21台
 ●会計案内表示盤 3台 ●診療費自動支払機 6台
 これらの機器は、既に越谷病院で稼働しています。

図書館の本貸し出しOK!

看護学校卒業生も大学図書館の本の貸し出しを受けられるようになったそうです。書店で見つからなかった本、どうしても借りたい本が借りられるって嬉しいですね。

図書館利用申込書に現在在職中の教職員の紹介印が必要です。詳しくは図書館カウンターでご相談ください。

SPECIAL PRESENT **ポスタープレゼント**

今回の表紙は長野県・北アルプス白馬連山を紹介しました。ポスターをご希望の方は、「杏の会」へのご意見、会誌の投稿・感想等を書添えの上はがきにてお申し込みください。先着20名の方にプレゼントいたします。応募の宛先は事務局へ。ポスターの発送をもってかえさせていただきます。

<編集後記>

21世紀を迎え「杏の会」会誌も第7号の発行とともに、皆様のご活躍をお知らせすることができることを誇りに思います。これからも一人一人の近況やご活躍が会誌を通してお伝えできれば会員間の親睦がより深まって行くことと思います。

今後も皆様の知恵とお力をお借りしながら「杏の会」会誌を発行して行きたいと思っておりますので、ごしどし情報をお寄せ下さい。お待ちしております。

同窓会会誌「杏の会」第7号

発行年月日:平成13年7月1日
 発行:附属看護専門学校同窓会事務局
 発行責任者:事務局長 大木秀子
 編集:「杏の会」会誌作成委員会
 〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880
 電話 0282-87-2244